



VALUE THE HOTEL

Guest Directory

宿泊約款

(適用範囲)

第1条

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令または一般に確立された習慣によるものとする。
- 当ホテルが、法令及び習慣に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとする。

(宿泊契約の申込み)

第2条

- 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日数及び到着予定時刻
 - 宿泊料金（原則として別表1の基本宿泊料による。）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日数を超過して宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとする。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとする。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払を要しないこととする特約)

第4条

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払を要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の可否)

第5条

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- 満室により客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする者が、以下のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）同法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- 天災に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 宿泊しようとする者が泥酔、酩酊者で、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼすおそれがあると認められたとき。

(宿泊客の契約解除)

第6条

- 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じたに当り、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を1時間経過した時刻）になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテル(館)の契約解除権)

第7条

- 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行行為をしたと認められるとき。
 - 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
 - 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊客が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限り）に従わないとき。
- 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条

- 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - 出発日及び出発予定時刻
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が第12条の料金支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発時を除き、終日使用することができます。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることが

あります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- 超過時間3時間までは、室料金の30%
- 超過時間5時間までは、室料金の50%
- 超過時間5時間以上は、室料金の100%

(利用規則の遵守)

第10条

宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示してある利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条

- 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービス案内書等でご案内いたします。
 - フロントキャッシャー等サービス時間：24時間営業
 - 飲食等（施設）サービス時間：別紙掲載
- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条

- 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客のチェックインの際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊者に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条

- 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了承を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとする。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、補償料を支払いません。

(預託物等の取扱い)

第15条

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価格の明告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは5万円を限度としてその損害を賠償します。
- 宿泊客が、当ホテル内にお持込になった物品又は現金並びに貴重品であつて、フロントにお預けにならなかつたものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告のなかつたものについては、5万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条

- 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了承したときに限って責任をもって保管し、お渡します。
- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物または携帯品が当ホテルに置き忘れている場合は、発見日を含めて7日間当ホテルにて保管し、その後遺失物法の規定に基づき処理します。（飲食物・雑誌に関しては即日処分します。）
- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとする。

(駐車責任)

第17条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。

(宿泊客の責任)

第18条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

■ 別表第1

宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

宿泊客が支払うべき総額	内 訳	
	宿泊料金	追加料金
	①基本宿泊料(室料)	②飲食料及びその他の利用料金
	税金	③消費税

■ 別表第2

違約金(第6条第2項関係)

契約申込人数	契約解除の通知を受けた日				
	不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	14名まで	100%	80%	20%	
団体	15名～99名まで	100%	80%	20%	10%
	100名以上	100%	100%	80%	20%

(注)

- ％は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
- 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の契約金を収受します。
- 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があつた場合、宿泊日の10日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については違約金を頂きません。

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

(Scope of Application)

Article 1.

- 1 The Accommodation Contract and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest shall be subject to these Terms and Conditions set forth herein (the "Terms and Conditions"). Any matter not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally established practices.
- 2 In case the Hotel has entered into a special contract with the Guest without conflicting with laws and regulations and generally established practices, notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, the special contract shall supersede the provisions of the Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2.

- 1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with our Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name(s) of the Guest(s);
 - (2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table 1)
 - (4) Other deemed necessary by the Hotel.
- 2 In case the Guest requests, during their his/her stay, extension of overnight stay beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, such request shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3.

- 1 The Accommodation Contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article, unless the Hotel has proved that the Hotel has not accepted the application.
- 2 When the Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of overnight stay by the date specified by the Hotel.
- 3 The deposit shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 18 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.
- 4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 of this Article, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where the Guest is informed that effect by the Hotel at the time when due date for payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4.

- 1 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Accommodation Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- 2 In case the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be considered that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Refusal of Conclusion of Accommodation Contracts)

Article 5.

The Hotel reserves the right to refuse the application for the Accommodation Contract under any of the following cases:

1. When the application for accommodation does not conform to the provisions of these Terms and Conditions.
2. When the Hotel is fully booked and has no rooms available.
3. When the Guest seeking accommodations is deemed liable to conduct him/herself in a manner that contravenes the laws or acts against the public order or good morals with respect to the accommodation.
4. When the Guest seeking accommodation is deemed to be:
 - i. In an "organized crime group" (hereinafter referred to as "Bouryokudan") as stipulated in the provisions of Article 2(ii) of Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991), a member of Bouryokudan as stipulated in the provision of Article 2 (vi) of the same Act (hereinafter referred to as "Bouryokudan member"), a Bouryokudan semi-regular member, an associate with Bouryokudan, or in another antisocial organization;
 - ii. In a corporation or any other organization whose activities are governed by Bouryokudan.
 - iii. In a corporation whose director is a member of Bouryokudan.

5. When the Guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other guests.
6. When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
7. When the Guest seeking accommodation makes any demand as by threats of violence or assumes any other unreasonable burden with respect to the accommodation.
8. When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disasters, malfunction of facilities and/or other causes of force majeure.
9. When the Guest seeking accommodation is obviously intoxicated and deemed in the view of the Hotel to be a potential cause of major annoyance or threat to other guests.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6.

- 1 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
- 2 In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table 2. However, in case a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the Obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest, when accepting the Special Contract.
- 3 In the case when the Guest does not appear by 8:00p.m. of the accommodation date(or 1 hour after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

Article 7.

- 1 The Hotel reserves the right to cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances.
 - i. When the Guest is deemed liable to conduct him/herself in a manner that contravenes the laws or acts against the public order or good morals with respect to the accommodation.
 - ii. When the Guest is deemed to be:
 - (i) In an "organized crime group" (hereinafter referred to as "Bouryokudan") as stipulated in the provisions of Article 2(ii) of Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991), a member of Bouryokudan as stipulated in the provision of Article 2 (vi) of the same Act (hereinafter referred to as "Bouryokudan member"), a Bouryokudan semi-regular member, an associate with Bouryokudan, or in another antisocial organization;
 - (ii) In a corporation or any other organization whose activities are governed by Bouryokudan.
 - (iii) In a corporation whose director is a member of Bouryokudan.
 - iii. When the Guest behaves extremely in a mischievous way against other guests.
 - iv. When the Guest is clearly detected as carrying an infectious disease.
 - v. When the Guest makes any demand as by threat of violence or assumes any other unreasonable burden with respect to the accommodation.
 - vi. When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disasters, malfunction of facilities and/or other causes of force majeure.
 - vii. When the Guest does not refrain from prohibited actions stipulated in the Hotel's Regulations such as smoking in bed, tampering with fire-fighting equipment. (restricted to particulars deemed necessary in order to prevent the outbreak of fires).
- 2 In the event that the Hotel cancels the Accommodation Contract in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any services which he/she has not yet received in the contractual period.

(Registration)

Article 8.

- 1 The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the first day of accommodation.
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s).
 - (2) Nationality, passport number, port and date of entry in Japan, in the case of a foreign guest.
 - (3) Scheduled Date and time of departure.
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 2 In case the Guest intends to pay his/her Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit card, these instruments of payment shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9.

- 1 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00p.m. to 10:00a.m. on the next day. However, in case the Guest stays more than one night, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
- 2 The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) Up to 3 hours: 30% of regular room charge;
 - (2) Up to 5 hours: 50% of regular room charge;
 - (3) More than 5 hours: Full regular room charge;

(Observance of Use Regulations)

Article 10.

The Guest shall observe the Hotel Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11.

1. The business hours of the main facilities of the Hotel are as follows. Details of the service hours of other facilities are explained in the pamphlet provided, displays in each place inside the Hotel and the service directory provided in each guest room.
 - (1) Service hours of front desk and cashier's desk : open 24 hours
 - (2) Service hours of other facilities : Indicated at the Front Desk
2. The business hours described in the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12.

- 1 The breakdown of Accommodation Charges and other relevant charges payable by the Guest is listed in the Attached Table 1.
- 2 Payment of the Accommodation Charges and other charges described in the preceding Paragraph shall be made in Japanese currency or by other alternative means acceptable by the Hotel, such as a coupon, credit card, etc., at the front desk at the time of check-in or upon request by the Hotel.
- 3 Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel and which are available for him/her to use.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13.

The Hotel shall compensate the Guest for his/her damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the Hotel shall not be held responsible for the damage in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

(Handling when unable to provide Contracted Rooms)

Article 14.

- 1 The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- 2 When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15.

1. In the event of loss or damage to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, the Hotel shall compensate for the damage except when the loss or damage occurred due to force majeure. However, when the Hotel requests the Guest to report the kind and value of such items and the Guest fails to do so, The Hotel shall compensate the Guest up to the maximum amount of 50,000 yen.
2. In the event of loss or damage to the goods, cash or valuables that are brought into the Hotel but not deposited at the front desk, the Hotel shall compensate for the damage if the loss or damage occurred due to the Hotel's negligence or intention. For such items whose kind and values were not declared in advance to the Hotel, the Hotel shall compensate for the damage up to the maximum amount of 50,000 yen.

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 16.

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel prior to his/her arrival, the Hotel shall be liable for its custody only if such request has been accepted by the Hotel.
2. When the baggage or belongings of the Guest are found after check-out the Hotel shall keep the items for a period of 7 days including the day it is found, and after this period the Hotel shall handle the items in accordance with the Lost Property Act. (However, perishables and magazines will be disposed of within one day)
3. The Hotel's liability with regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1 of this Article, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2 of this Article.

(Liability with regard to Parking)

Article 17.

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not.

(Liability of the Guest)

Article 18.

The Guest shall compensate the Hotel for damages to the Hotel caused due to the Guest's negligence or intention.

Attached Table 1 : The Breakdown of the Accommodation and Other Charges.
(Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

Total Amount to be paid by the Guest	Contents	
	Accommodation Charge	(1) Basic Accommodation Charge
	Extra Charge	(2) Meals, Drinks and Other Expenses
	Tax	(3) National Consumption Tax

Attached Table 2 : Cancellation Charge

Date when Cancellation of Contracted Number of Guests is Notified		No-show	Arrival Day	1 Day prior to Arrival Day	9 Days prior to Arrival Day	20 Days prior to Arrival Day
Group	15~99	100%	80%	20%	10%	10%
	100 and more	100%	100%	80%	20%	10%

- Remarks:
1. The percentages indicate the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
 2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charges for one day (the first day of accommodation) shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
 3. When part a group booking (for 15 persons or more) is canceled, no cancellation charges shall apply if the number of people canceled is less than 10% of the total number of people booked, with fractions rounded up to the next whole number as of 10 days prior to the first day of occupancy (or the day when the Accommodation Contract has been accepted in less than 10 days prior to the first day of occupancy).